

令和6年度B日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて6ページで、問題は□一から□三まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

受 検 番 号

□ 次の(一)～(四)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書きなさい。

- 1 受賞の栄^レ誉^ハに輝く。
- 2 緩^レやかな曲線を描く。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書きなさい。

- 1 キ^レケンな場所を避ける。
- 2 新たな技をコ^レコロみる。

(三) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が「偉」と同じ漢字を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 隊 イ 銅 ウ 禪 エ 格

(四) ひびきさんは、「鮭」という言葉についてレポートを作成している。次は、ひびきさんが作成している【レポート】と、挿入する【図表】である。これらを読んで、後の1～5の問いに答えなさい。

【レポート】

鮭は「サケ」? 「シヤケ」?

1年2組 山川 ひびき

1 a

お弁当を買おうとして店のメニューを見ると、「シヤケ弁当」と書いてあった。しかし、「サケ弁当」と書いてあるものも見たことがある。「サケ」と「シヤケ」と表現がどうして違うのか、疑問に思ったので、調べることにした。

2 b

- (1) 新国語辞典で「さけ」と「しゃけ」を調べる。
- (2) インターネットで、①P協会、②Q協会、③Rニュースの、それぞれのウェブページを調べる。

3 c

(1) 「さけ (鮭)」の説明の中には「しゃけ。」と載っていた。「しゃけ (鮭)」の説明には、「サケの転。」と書かれていた。

(2) ①「サケ」と「シヤケ」は、昔から両方の表現が使われている。明治時代の辞書には、「シヤケ」を「サケがなまっしたもの」と記したものもある。どちらかという「サケ」の方が正しいように捉えられているが、食材と考える場合は「シヤケ」と言い分ける傾向もある。2021年の調査結果では、「〇〇が泳いでいる」と言う場合には「サケ」が圧倒的に多く、「〇〇の切り身」と言う場合には「シヤケ」の方が多くなっている。

Ⅱ

② 鮭のよび方が二通りになった理由としては、方言という説や、生き物か食材かで異なるという説がある。

③ Rニュースが2020年に行ったアンケート調査では、「シヤケ」という回答が62%であった。

著作権保護のため掲載していません。

4 d

3の(2)①のように、もともとは「サケ」であったものが「シャケ」ともよばれるようになったと考えられる。私は普段、「シャケ弁当」と当たり前に使っているし、生き物の鮭は「サケ」とよぶので、現代では、②のように生き物なのか食材なのかで使い分けることが定着しているのかもしれない。

しかし、③を見ると、北海道では鮭の漁獲量が多いので「シャケ」派が多く、よび方と漁獲量には関係があると考えられる。そこで、今後はさらに、地域とよび方の関係性や、鮭に関するどのような方言がどう分布しているのかなど、今回とは異なる視点から調べてみたい。

5 Ⅲ 参考資料

- ・「新国語辞典 第七版」 講英社 (2018年)
- ・P協会 <https://www.⋯.html>
- ・Q協会 <https://⋯.html>
- ・Rニュース <https://news.⋯/>

【図表】

ア

著作権保護のため掲載していません。

ウ

著作権保護のため掲載していません。

イ

著作権保護のため掲載していません。

エ

著作権保護のため掲載していません。

1 レポートの形式に従ったとき、【レポート】中のaとdに当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つずつ選び、その記号を書きなさい。ただし、それぞれの記号は一度しか使わないものとする。

ア 調査方法 イ 考察 ウ テーマの設定 エ 調査結果

2 【レポート】中の——線部Ⅰの「表現」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 前後 イ 洗顔 ウ 雷鳴 エ 豊富

3 【レポート】中のⅡに当てはまる図表として適切なものを、【図表】のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

4 【レポート】中の——線部Ⅲに「参考資料」とあるが、参考資料の一つである図書の情報として書けていないものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 出版年 イ 出版社名 ウ 著者名や編集者名 エ 書名

5 ひびきさんは、【レポート】中の4の文章を修正することにした。その理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア データをもとに考えを述べているが、考えの根拠が適切でないことに気づいたから。
イ 今回の調査については結論が出ており、今後の学習の広がりを感じられないから。
ウ 文章中に自分の体験を書いていないため、読み手への説得力に欠けると考えたから。
エ 常体と敬体が交じっているため、文末表現を統一する必要があると思ったから。

二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中の——線部1に「まるで見えない卵の殻の中にいるようなものです」とあるが、筆者はここでどういふことを述べているか。その内容を、「情報」「成長」の二つの言葉を必ず使い、**四十字以上五十字以内**で書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

(二) 文章中から次の一文を抜いてあるが、文章中の **ア**、**イ** のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で書きなさい。

一方、こうした報道に苦言を呈する人たちもいました。

(三) 文章中の——線部 **2** に「連日の報道に少し違和感を持ちました」とあるが、筆者はどのようなことに「違和感」を持ったと述べているか。その内容として最も適切なものを、次の **ア**、**イ** から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア ごみを拾って帰るといふ日本人の行動について、連日の報道では、その行動を単にきれいな話として終わらせるのではなく、物事は一面的ではないという見方を重視するべきだと伝えていくこと。

イ ごみを拾って帰るといふ日本人の行動について、連日の報道では、その行動は「陰徳陽報」といふ昔からの教えによる規則にもとづいた行動であり、個人の判断による行動ではないと伝えていくこと。

ウ ごみを拾って帰るといふ日本人の行動について、他人に褒められるためにやっていることではなかったはずなのに、連日の報道では、外国の人たちに褒められたことを強調して伝えていくこと。

エ ごみを拾って帰るといふ日本人の行動について、本来、褒められるべき行いであるにもかかわらず、連日の報道では、この行動に対する苦言ばかりを取り上げて否定的に伝えていること。

(四) 文章中の——線部 **3** に「私は日本人の変質を感じてしまいました」とあるが、筆者は、日本人がどのように変質したと捉えているのか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどのように考えるか。次の **条件 1**、**2**、**3** にしたがって書きなさい。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件 1 全体を八十文字以上百字以内にまとめること。

条件 2 最初に、筆者の考えを説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

条件 3 自分の考えについては、なぜそう考えるかという理由を明らかにして書くこと。

〔三〕 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

齊^{せい}の景公^{けいこう}出でて獵^{りつ}す。山に上れば虎を見、沢に下れば蛇を見る。帰つて晏子^{あんし}を召してこれに問うて曰^いはく、今日寡人^{くわじん}出でて獵^{りつ}す。山に上れば則^{すなは}ち虎を見、沢に下れば則^{すなは}ち蛇を見る。殆^{たいてん}ど所謂^{いはゆる}これ不祥かと。晏子曰はく、国に三不祥あり、是^{これ}は与^{あか}らず。それ賢有りて知らざるは一の不祥なり。知つて用^{もち}ひざるは二の不祥なり。用ひて任せざるは三の不祥なり。所謂不祥とは乃^{すなは}ち此^{かく}のごときものなり。今山に上りて虎を見るは虎の室なればなり。沢に下つて蛇を見るは蛇の穴なればなり。虎の室に如^{ごと}き、蛇の穴に如^{ごと}きてこれを見る。曷^{なん}ぞ不祥となさんと。

(劉向『說苑』による)

(注) 齊…古代中国、春秋・戦国時代にあつた国の名。

景公…齊の国の王。

晏子…景公に仕えた名臣の名。

寡人…王や諸侯が自分のことを控えめに言うことば。

殆ど…おそらくは。

不祥…不吉な前兆。

与らず…関係しない。

虎の室…虎のすみか。

曷ぞ…どうして。

(一) 文章中の~~~~線部の「用ひざる」を現代仮名遣いに直して、~~~~線部全部をひらがなで書きなさい。

(二) 文章中の——線部の「これ」が指す内容を、次のような一文で説明するとき、**a**・**b**に当てはまる適切な言葉を、文章中からそれぞれ一字でそのまま抜き出して書きなさい。

景公が獵に出たときに **a** と **b** を見たこと。

(三) この文章で述べられている内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 今日、自分に起きたできごとは不祥ではないかと恐れている景公に対して、晏子は、王が賢人のことを高く評価しなかったことが不祥であると述べている。

イ 今日、晏子の身に起きたできごとは不祥かもしれないと心配している景公に対して、晏子は、王が賢人との約束を三度も守れないことが不祥になると述べている。

ウ 今日、賢人に起きたできごとは不祥であると思ひ込んでいる景公に対して、晏子は、国の不祥とは、王と賢人との関係がよくないことであると述べている。

エ 今日、自分に起きたできごとは不祥であるかと問う景公に対して、晏子は、国の不祥とは、王が賢人を適切に扱わないことであると述べている。